

## **須賀川市民生児童委員協議会**

(平成 26 年 11 月)

### **(1) 地域の状況**

須賀川市は、豊かな自然環境に恵まれ、県内唯一の空の玄関口「福島空港」を有し、首都圏や仙台圏へのアクセスが容易で、空港や高速交通体系の整った「臨空都市」として大きく成長してきました。面積は 27,955 k m<sup>2</sup>です。

4 月から 5 月中旬にかけては須賀川牡丹園が開園し、東京ドームの 3 倍の広さの園内に 290 種類、7,000 株の大輪の花が咲き競います。

総人口は、76,892 人、世帯数は 26,462 世帯です (平成 26 年 9 月 1 日現在)。

### **(2) 須賀川市の被災状況**

東日本大震災では、須賀川市は震度 6 強の揺れに襲われました。

地震による被害としては、人的被害 (死者 10 名、行方不明者 1 名、負傷者 1 名) 住宅被害 (全壊 1,249 棟、半壊 3,503 棟、一部損壊 10,565 棟、床上床下浸水 62 世帯)

### **(3) 民生委員・児童委員の構成**

民生委員・児童委員 154 名 (うち主任児童委員 18 名)

### **(4) 震災直後の民生委員の活動**

平成 23 年 3 月 14 日設置の災害ボランティアセンター (設置期間～平成 23 年 6 月 30 日) および市内の避難所 (20 か所) での支援協力。

物流網が寸断され食料、自動車燃料等、活動に困難をきたす状況ではありましたが、担当地区の要支援者の安否確認を最優先に、関係機関への情報提供、水、食料、支援物資の確保、配付にと民生委員一丸となって支援活動を行ないました。特に仮設住宅の支援活動に関しては、毎月の月例会において各関係機関との情報交換会を行なってきました。

### **(5) おわりに**

震災から 3 年半が経過した現在も多くの方が避難生活をしていますが、これまで多くのボランティアや関係機関の皆様に絶大なるご支援をいただいていることに厚く御礼を申し上げます。